

令和7年度（春）
市民と議会の懇談会概要

令和7年4～5月開催
宮津市議会

R7 春 市民と議会の懇談会(開催結果)

(令和7年4～5月開催)

開催日時	地区・会場	担当議員		参加者数
4月23日（水） 19:00～20:40	南部地区 栗田地区公民館	2 班	◎久保、小濃、坂根、 星野、堀、安田、横川	14 人
4月28日（月） 19：00～20:30	北部地区 府中地区公民館	1 班	◎ 松本、幾世、宇都宮、 河原、長本、松浦	5 人
5月18日（日） 14：00～15:30	宮津地区 福祉・教育総合プラザ	2 班	◎久保、小濃、長本、 星野、堀、横川	6 人
5月21日（水） 19:00～20:30		1 班	◎ 松本、幾世、宇都宮、 河原、坂根、松浦	7 人
合 計				32 人

令和 7 年 度「市 民 と 議 会 の 懇 談 会」報 告 書

開 催 日 時	令和 7 年 4 月 23 日（水）19：00～20：40
地 区 開 催 場 所	南部地区 栗田地区公民館
出 席 議 員	班長：久保浩 議員：小濃孝之、坂根栄六、星野和彦、堀未季、安田裕美、横川秀哉
参 加 人 数	14 人
令和 7 年度当初予算に関する質問	・火葬場について、与謝野町と共同して建設する話を聞くが、実態はどうなっているのか。 ・火葬場の進捗状況はどのようになっているのか。 ・子どもサポートセンターの設置及び運営について、対象児童へのアプローチ方法はどのように行うのか。 ・大阪・関西万博関連の各事業について、宮津市へのリターンは。
当初予算報告についての意見	・火葬場について与謝野町との合意は難しいと思われるので、どこか適切な場所に建設すべきではないか。 ・子どもサポートセンターに遠方の児童が通うことに課題がある。 ・太陽光パネル設置は、補助金が出るから成り立つのではないか。火事が起きても水をかけられないなど様々課題がある。 ・空き家が増えて困っている。高齢化率も高い。 ・栗田自治連の今年度の取り組みとして、空家バンクへの登録を重点的に取り組んでいきたい。
その他の意見等	・波路地区の旧清掃工場の解体の計画はあるのか。土地の借地料を支払っているのか。土壌調査などを早くする必要がある。 ・エネ研の跡地利用に関して、客船でエネ研跡地に接岸し、そこからバスで観光客を京都市内に運ぶなど、稼ぐことを考える必要がある。 ・小田宿野地区では毎月 1 回、高齢者対象のサロン活動を行っている。社協や自治会から補助をもらっているが、赤字になりそうなので補助金を増やしてほしい。 ・栗田には徒歩圏内にスーパーやお店がなく買い物に困っている。 ・市の職員の人事について、若い人がやめるのは残念。良い人材がいないと良い仕事はできない。 ・原発の稼働や再生可能エネルギーについて、将来を見据えて考えていくべきだか、否定ありきではなく様々な視点や角度から考えていくことが大切。

「市民と議会の懇談会」の内容を班会議において取りまとめたので報告します。

令和 7 年 6 月 30 日 宮津市議会議長 松浦 登美義 様

2 班 班長 久保 浩

令和 7 年 度「市 民 と 議 会 の 懇 談 会」報 告 書

開 催 日 時	令和 7 年 4 月 28 日（月） 19：00 ～20：30
地 区 開 催 場 所	北部地区 府中地区公民館
出 席 議 員	班長：松本隆 議員：幾世恭典、宇都宮綾、河原末彦、長本義浩、松浦登美義
参 加 人 数	5 人
令和 7 年度当初予算に関する質問	・当初予算 128 億円のうち、独自の事業に使える予算はどのくらいあるのか。教育費など必要なものの予算は簡単には削れない。 ・ふるさと納税はどのくらいあるのか。また使途の目的と返礼品はどのようなものがあるのか。
当初予算報告についての意見	・太陽光パネル設置について費用対効果は。1 年ごとに発電能力は下がるのではないのか。耐用年数はどのくらいなのか。 ・太陽光パネル設置の優先順位は高くない。体育館の空調設備もできていない。 ・府中小学校への太陽光パネル設置に費用を充てるということは、新しい学校建設の計画がないのか。また、将来の統廃合は白紙状態なのか。 ・若い人は子育てをしなければならない。医療費の助成を真剣に考えてほしい。 ・下水道の接続率は良くないと思うがどうか。高齢世帯では接続はしないのではないのか。また、府中地区内の下水道接続率は。 ・下水道会計は赤字なのか。下水道接続が問題なのか。運営するには赤字が続く事業なのか。 ・新税を検討し、収入増の施策を行う必要がある。自主財源増の方向性を示すべきではないか。 ・宿泊税はあまり歳入が見込めない。観光税を取ってはどうか。
その他の意見等	・観光について行政と民間とは、できることの違いがある。市は観光都市としているが、客観的に見れていない。 ・世界遺産登録は、地元住民の生活に制約がある。本気でやるのか。必要性は。人に来てもらうための議論が必要。 ・観光事業について、民間の旅館ホテル・飲食店・土産店等に頑張ってもらったためには、行政などからの補助が必要。 ・府中小校内に安全面で対処すべきものがあり、屋外の非常階段の改修ができていない。子どもの安全を考えてほしい。 ・公共施設を補助金などで多く建設してきたが、維持管理などは見てこなかった。宮津会館などは今の状態のままなのか。 ・ふるさと納税は、転出された方に頼むしかない。 ・市議会は先進地視察に行き、どのような気づきがあるのか。

「市民と議会の懇談会」の内容を班会議において取りまとめましたので報告します。

令和 7 年 6 月 30 日 宮津市議会議員 松浦 登美義 様

1 班 班長 松本 隆

令和 7 年度「市民と議会の懇談会」報告書

開催日時	令和 7 年 5 月 18 日（日）14：00～15：30
地区 開催場所	宮津地区 福祉・教育総合プラザ(ミップル)第 1 コミュニティルーム
出席議員	班長：久保浩 議員：小濃孝之、長本義浩、星野和彦、堀未季、横川秀哉
参加人数	6 人
令和 7 年度当初予算に関する質問	・太陽光パネルの設置費用は市の持ち出しではないのか。 ・当初予算において水道管耐震化の予算は計上されているのか。 ・予算を削減できるところはないのか。 ・税収増の施策を検討すべきではないか。
当初予算報告についての意見	・火葬場について与謝野町との協議中だと思うが、与謝野町の施設を使用させてもらうしかないのではないのか。 ・他事業の予算を削って土木費に回すべきではないか。
その他の意見等	・山を削って太陽光パネルを設置するのはエコではない。また、電気自動車もトータルでみればエコではない。 ・この懇談会の参加者が少ない。市民への周知が足りないのではないのか。自治会長に責任を持たせることが必要ではないか。 ・4 月～5 月は祭りなどがあり、開催時期が悪いのではないのか。 ・議員定数が 12 人に削減されるが、議員報酬を半分にして議員定数を倍にするほうが良いのではないのか。

「市民と議会の懇談会」の内容を班会議において取りまとめたので報告します。

令和 7 年 6 月 30 日 宮津市議会議長 松浦 登美義 様

2 班 班長 久保 浩

令和 7 年度「市民と議会の懇談会」報告書

開催日時	令和 7 年 5 月 21 日（水）19：00～20：30
地区 開催場所	宮津地区 福祉・教育総合プラザ（ミップル）第 1 コミュニティルーム
出席議員	班長：松本隆 議員：幾世恭典、宇都宮綾、河原末彦、坂根栄六、松浦 登美義
参加人数	7 人
令和 7 年度当初予算に関する質問	・大阪・関西万博の小中学生の校外体験学習はリスクが高い。熱中症や災害が起こった場合の対応はどうするのか。 ・空き家対策として移住定住を促進するべき。岡山県和気町は、毎年 100 人の移住者がある。 ・水道料金を値上げしたとしても、水道管の耐震化整備は水道事業にかかる運営予算とは別ではないか。
当初予算報告についての意見	・消防防災の関係では、避難行動及び警報が変わったことで、高齢者の避難体制が変わった。自治会とのかかわりが出てくる。行政と地元と議会で関係者会議を持ってはどうか。 ・マイ・タイムラインが示された。避難指示が出てから、携帯電話から団員に、市から地域にどういう形で知らせるのか。 ・旧宮津町内は防災行政無線がない。拡声器がないところはどのように知らせるのか。どういう指示があり、どのような行動をとるのか。また、民生委員に知らせる体制を考えてほしい。 ・水道管の耐用年数は 40 年になる。全ての水道管耐震化を自治体でやるのは無理がある。30 年の経過に伴い、国で予算化ができないのか。
その他の意見等	・波路地区の旧清掃工場の土壌調査を早急にしないとダイオキシンの影響が出てくるのではないか。 ・市庁舎整備に関するアンケート 366 件はどこで取ったのか。 ・旧庁舎の解体費用を見込んでいない。このままでは市庁舎関係に係る経費によって破綻する。

「市民と議会の懇談会」の内容を班会議において取りまとめましたので報告します。

令和 7 年 6 月 30 日 宮津市議会議長 松浦 登美義 様

1 班 班長 松本 隆